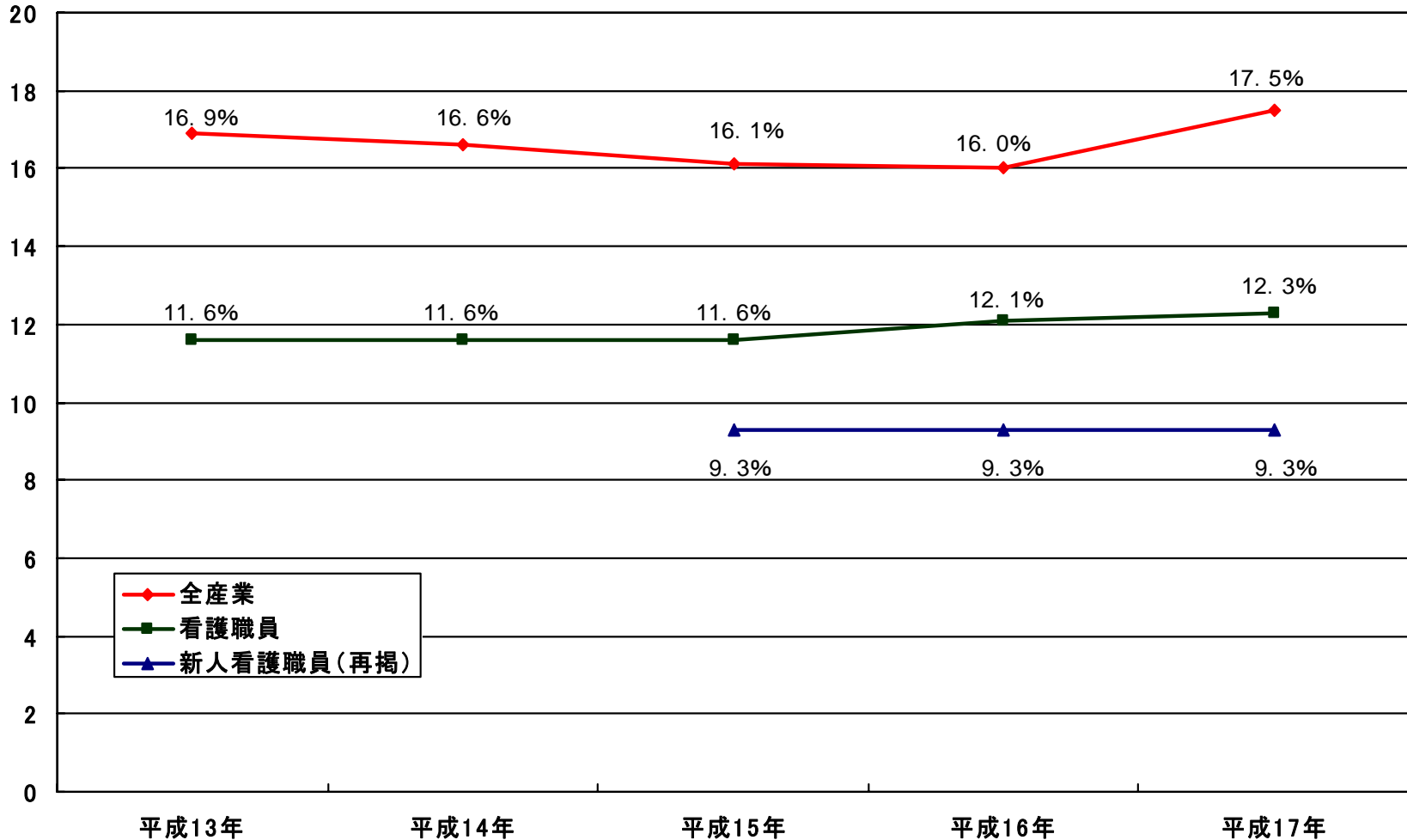


全産業と看護職員の離職率の推移



出典:全産業は「雇用動向調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)
看護職員は「病院における看護職員需給調査」(日本看護協会)

新人看護職員の離職理由

新卒看護職員の職場定着を困難にしている要因(複数回答)

(調査期間:平成16年11月～12月 対象:大学、短大は看護学部部長、養成所は教務主任)

(学校調査:学校養成所種類別)

	大学 (n=60)		短大 (n=29)		看護師養成所 (n=348)	
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	順位	割合(%)
基礎教育終了時点の能力と現場で求める能力とのギャップが大きい	①	66.7	②	75.9	①	82.5
現代の若者の精神的な未熟さや弱さ	②	55.0	①	86.2	②	79.0
看護職員に従来より高い能力が求められるようになってきている		25.0		24.1	③	52.9
個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない職場風土	③	40.0	⑤	31.0	④	47.1
現場の看護職員が新卒看護職員に教える時間がなくなっている	⑤	31.7	⑤	31.0	⑤	39.4
交代制など不規則な勤務形態による労働負担が大きい	④	33.3	③	34.5		28.2
新卒看護職員を計画的に育成する体制が整っていない		20.0	③	34.5		31.3
新卒看護職員が看護の仕事の魅力を感じにくい状況にある		25.0		24.1		37.6
自分が医療事故を起こすのではないかと不安が強く萎縮している		28.3		27.6		27.9
看護業務が整理されていないため新人が混乱する		16.7		13.8		1.1
若者がおかれた社会的な状況が経済的自立の必要性を弱めている		11.7		13.8		1.1
その他		18.3		13.8		14.9
無回答		3.3		6.9		0.3

※nは調査票回収数(調査票送付671校 有効回収数436 回収率65%)

出典:「2004年 新卒看護職員の早期離職等実態調査」(日本看護協会)

新人看護職員の離職理由

新卒看護職員の職場定着を困難にしている要因(複数回答)

(調査期間:平成16年11月～12月 対象:200床以上の全病院の看護部長)

(病院看護部調査)

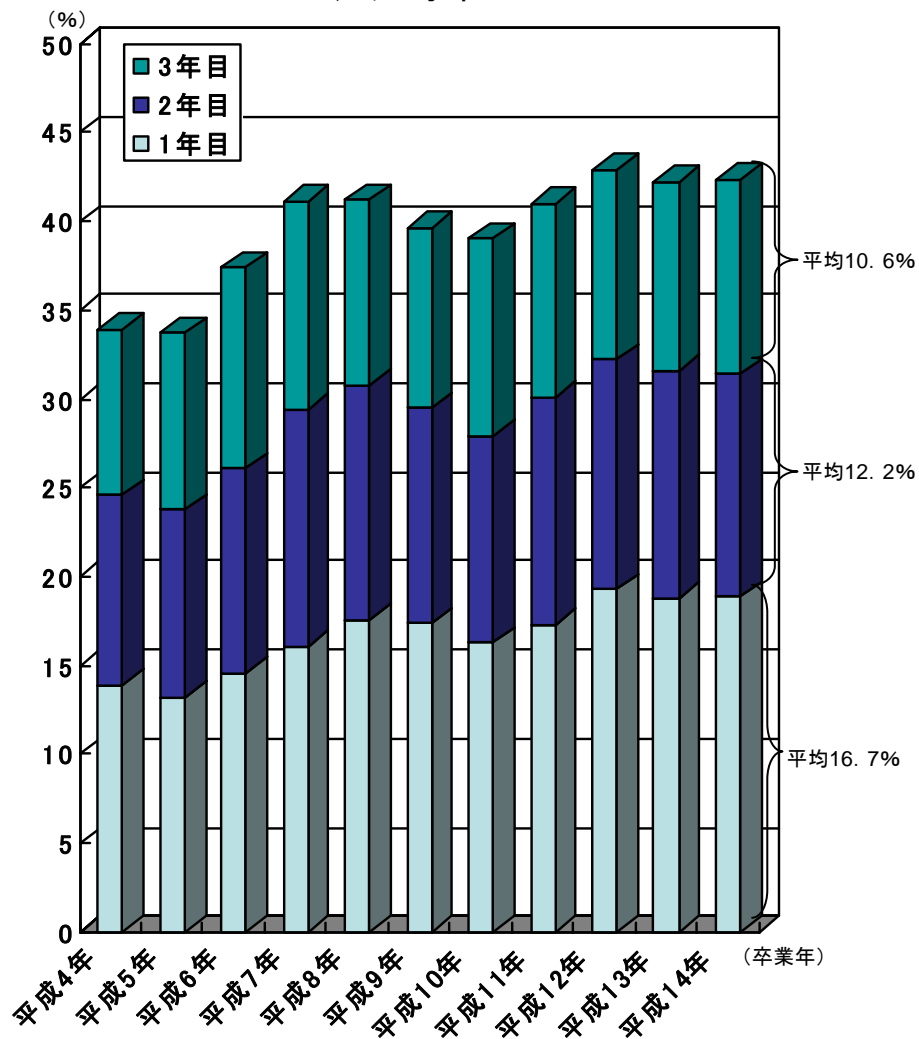
	病院調査 (n=1, 219)		参 考 学校調査(n=436)		備 考
	順位	割合(%)	順位	割合(%)	
基礎教育終了時点の能力と現場で求める能力とのギャップ	①	76.2	①	80.3	
現代の若者の精神的な未熟さや弱さ	②	72.6	②	76.4	
看護職員に従来より高い能力が求められるようになってきている	③	53.3	③	47.0	
個々の看護職員を「認める」「ほめる」ことが少ない職場風土	⑨	20.9	④	45.0	
現場の看護職員が新卒看護職員に仕事のなかで教える時間がない	④	39.0	⑤	37.8	
交代制など不規則な勤務形態による労働負担が大きい	⑤	37.2	⑧	28.9	
新卒看護職員を計画的に育成する体制が整っていない	⑩	20.8	⑦	30.0	
新卒看護職員が看護の仕事の魅力を感じにくい状況がある	⑦	30.4	⑥	34.9	
自分が医療事故を起こすのではないかと、という不安で萎縮している	⑧	28.5	⑨	28.0	
看護業務が整理されていないため新人が混乱する	⑪	17.0	⑩	23.4	
現代の社会・経済的な状況が経済的自立の必要性を弱めている	⑥	33.4	⑪	20.0	
その他	⑫	10.3	⑫	15.1	
無回答	—	7.5	—	1.1	

※nは調査票回収数(調査票送付2, 879病院 有効回収数1, 219 回収率42%)

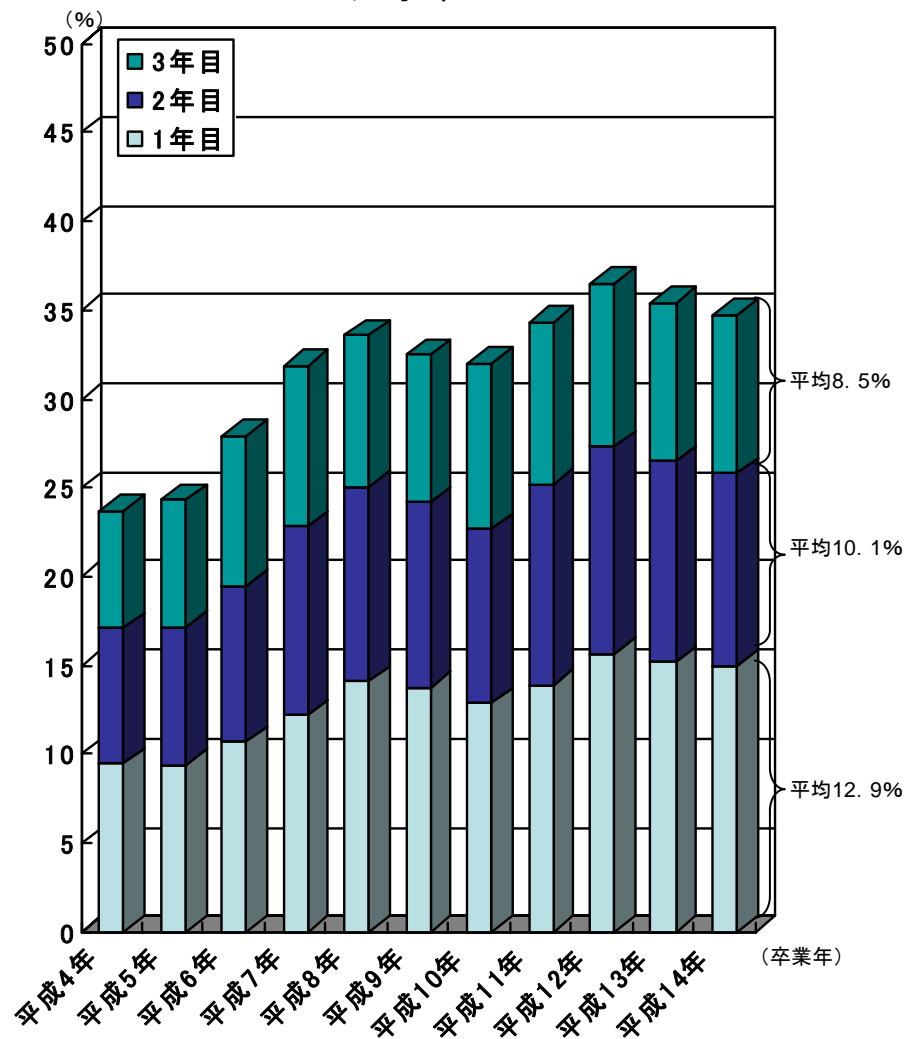
出典:「2004年 新卒看護職員の早期離職等実態調査」(日本看護協会)

全産業の新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移

短大等卒



大学卒



(注)この離職率は厚生労働省が管理している雇用保険被保険者の記録を基に算出。新規に被雇用保険者資格を取得した年月日と生年月日により各学歴に区分。

厚生労働省職業安定局調べ